

日頃より『にししん』を  
お引き立て賜り  
ありがとうございます



# 2008 MINI DISCLOSURE Nishi Shin REPORT

にししんの現況

平成20年9月期

ここに当金庫の平成20年9月期(仮決算)の主な経営内容を取りまとめました。是非、ご高覧頂き、これまで以上に身近な地域金融機関としてご愛顧頂ければ幸いに存じます。

経営理念

地域への貢献と豊かな生活<sup>くらし</sup>を支援する、創造的なグッドパートナーで在り続ける。

経営方針

- ①店周を中心に積極的支援活動を展開し、CS(顧客満足度)の向上を図ります。
- ②地域にあつて親しまれ、信頼され、存在感の示せる役職員の活動を展開します。
- ③一人一人が、持ち場持ち場で最大限の知恵と力を発揮します。

## 地域貢献に関する事業

### 《地域行事への参加》

「夏越まつり」をはじめ、各種地域行事に積極的に参加しております。

### 《献血活動》

6月16日に当金庫本店駐車場にて役職員やお客様が献血活動に協力しました。

### 《ロビーの解放》

各営業店で、絵画・生花・手芸などのロビー展を開催し、ご利用いただいております。

### 《清掃活動》

白浜海水浴の清掃活動など、地域の清掃活動に積極的に参加しております。

### 《店舗一覧》

■本部	佐世保市天満町1-15	TEL 0956-22-5181
■本店営業部	佐世保市天満町1-15	TEL 0956-22-5181
■本島支店	佐世保市本島町1-6	TEL 0956-24-5181
■大宮支店	佐世保市大宮町8-19	TEL 0956-31-6126
■俵町支店	佐世保市俵町9-12	TEL 0956-23-1101
■大野支店	佐世保市田原町10-12	TEL 0956-49-3341
■相浦支店	佐世保市相浦町1615-2	TEL 0956-47-3105
■早岐支店	佐世保市早岐2-3-17	TEL 0956-38-3148
■大村支店	大村市東三城町5	TEL 0957-52-2141
■竹松支店	大村市竹松本町956-1	TEL 0957-55-7144
■西大村支店	大村市諏訪1-604-1	TEL 0957-52-4100
■諫早支店	諫早市永昌町18-1	TEL 0957-26-3556
■ジャスコシティ大塔出張所(店外ATM)		
■食品流通団地出張所(店外ATM)		
■川棚出張所(店外ATM)		

## 貸借対照表 (単位:百万円)

勘定科目	平成20年9月末	平成19年9月末
現金	2,919	3,561
預け金	10,679	18,829
有価証券	12,339	7,414
貸出金	44,811	42,989
その他資産	441	460
有形無形固定資産	1,656	1,885
繰延税金資産	279	301
債務保証見返	500	1,201
貸倒引当金	△2,045	△1,838
その他の引当金	-	0
資産合計	71,583	74,804

勘定科目	平成20年9月末	平成19年9月末
預金積金	68,273	70,123
その他負債	256	222
代理業務勘定	6	-
退職給付引当金	133	135
役員退職慰労引当金	-	32
その他の引当金	3	0
再評価に係る繰延税金負債	407	469
債務保証	500	1,201
負債計	69,581	72,185
純資産	2,001	2,618
負債及び純資産合計	71,583	74,804

## 損益計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成20年9月末	平成19年9月末
貸出金利息	711,796	673,158
預け金利息	32,414	50,908
有価証券利息配当金	102,674	91,497
その他受入利息	5,384	5,689
役務取引等収益	55,362	52,127
その他業務収益	10,789	6,385
その他経常収益	14,719	30,348
特別利益	699	125,806
利益計	933,842	1,035,922

勘定科目	平成20年9月末	平成19年9月末
預金積金利息	126,799	109,514
借入金利息	-	-
その他支払利息	-	-
人件費	365,067	374,852
物件費	196,663	226,598
税金	7,643	7,589
役務取引等費用	64,068	43,971
その他業務費用	60,155	5,344
その他経常費用	107,041	7,478
特別損失	12	175
法人税等	-	-
法人税等調整額	▲2,423	-
損失計	925,027	775,523
期中損益	8,815	260,398
合計	933,842	1,035,922

## 《半期情報開示について》

信用金庫の決算は、法律により年1回と定められておりますが、当金庫におきましては、経営の健全性、透明性の確保に努め、地域の皆様方に適時適正な情報を公開していくという方針のもとに、半期情報を任意の情報として開示するものです。なお、開示記載しております平成20年9月末の計数等につきましては、監査法人の監査は、受けておりません。

## 平成20年9月期仮決算実績について

### 仮決算の経常利益は5百万円、 当期純利益は8百万円となりました。

業務純益は、本業収益の柱である貸出金が増加し、個人向け消費者ローンを中心に堅調に推移したことにより、貸出金利息が増加致しましたが、米国のサブプライムローン問題を発端とした世界的金融不安懸念が拡大し、一部保有有価証券の損失処理を行ったことなどにより、前年同月比23百万円の減少となりました。

経常利益は、今後の信用コスト増加に備えるために、貸倒引当金を積み増したことから前年同月比129百万円の減少となりました。

当期純利益は、前年同月比で251百万円の減益となりましたが、8百万円の当期純利益を計上することができました。

## 自己資本比率 (単体)

◆平成20年9月末

自己資本の額	1,899百万円
自己資本比率	4.90%程度

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

自己資本の額	2,421百万円
自己資本比率	5.77%程度

## 預金・貸出金残高

◆平成20年9月末

預金	68,273
貸出金	44,811

(単位:百万円)

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

預金	70,123
貸出金	42,989

(単位:百万円)

## 損益の状況

◆平成20年9月末

経常収益	933
業務純益	100
経常利益	5
税引後当期利益	8

(単位:百万円)

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

経常収益	910
業務純益	124
経常利益	134
税引後当期利益	260

(単位:百万円)

## 貸出金業種別の内訳

◆平成20年9月末

(単位：百万円)

業種	貸出金の残高
農業	34
林業・狩猟業	—
漁業・水産養殖業	119
鉱業	92
建設業	2,073
製造業	1,275
卸売業・小売業	3,767
金融・保険業	346
不動産業	11,167
情報通信業	178
運輸業	650
電器・ガス・水道・熱供給業	9
サービス業	9,091
小計	28,806
地方公共団体	1,431
個人(住宅・消費・納税資金等)	14,573
合計	44,811

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

(単位：百万円)

業種	貸出金の残高
農業	13
林業・狩猟業	—
漁業・水産養殖業	117
鉱業	—
建設業	2,441
製造業	1,228
卸売業・小売業	4,227
金融・保険業	48
不動産業	10,524
情報通信業	189
運輸業	351
電器・ガス・水道・熱供給業	5
サービス業	9,656
小計	28,804
地方公共団体	1,316
個人(住宅・消費・納税資金等)	12,868
合計	42,989

## 有価証券の時価情報

### ① その他の有価証券で時価のあるもの

◆平成20年9月末

(単位：百万円)

	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	3,499	△12	11	23
株式	134	△74	0	75
その他	1,711	△594	1	595

(注記)平成20年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、平成20年9月末時点の帳簿価格(償却減価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

(単位：百万円)

	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	3,486	△19	12	32
株式	359	△52	15	68
その他	2,344	△243	11	255

### ② その他の有価証券で時価のないもの

◆平成20年9月末

(単位：百万円)

	帳簿価額
株式	22

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

(単位：百万円)

	帳簿価額
株式	22

### ③ 満期保有目的の債券で時価のあるもの

◆平成20年9月末

(単位：百万円)

	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	6,293	9	11	2
株式	—	—	—	—
その他	585	△124	—	124

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

(単位：百万円)

	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	520	3	3	0
株式	—	—	—	—
その他	621	△62	—	62

### ④ 「売買目的有価証券」「子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの」「商品有価証券」「デリバティブ取引」は該当ございません。

## 金融再生法に基づく開示債権額

◆平成20年9月末

(単位：百万円)

〈参考〉◆平成19年9月末(実績)

(単位：百万円)

区分	債権額
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	3,019
危険債権	2,445
要管理債権	103
小計	5,567
正常債権	39,773
合計(総与信額)	45,341

区分	債権額
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	3,291
危険債権	2,536
要管理債権	118
小計	5,946
正常債権	38,327
合計(総与信額)	44,273

(注)1.「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、和議等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権(以下、破産更正債権等という)です。

2.「危険債権」とは債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3.「要管理債権」とは、自己査定において要管理先に区分された債務者に対する債権のうち、3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当するものをいいます。

4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、破産更正債権等、危険債権、要管理債権以外の債権をいいます。

## 自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項 目	平成20年9月期	平成19年9月期
	出資金	870
利益準備金	605	605
特別積立金	150	150
当期末処分剰余金又は当期末処理損失金	106	363
その他有価証券の評価差損(△)	680	315
営業権相当額(△)	-	-
基本的項目(A)	1,051	1,524
再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	610	703
一般貸倒引当金	236	193
負債性資本調達手段等	-	-
補完的項目不算入額(△)	-	-
補完的項目(B)	847	897
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	-	-
控除項目不算入額(△)	-	-
控除項目(C)	-	-
自己資本(A)+(B)-(C) (D)	1,899	2,421
資産(オン・バランス)項目	35,263	37,620
オフ・バランス項目	391	1,178
オペレーショナル・リスクを8%で除した額	3,058	3,162
合 計(E)	38,713	41,960
単体Tier1比率(A)/(E)	2.71%	3.63%
単体自己資本比率(D)/(E)×100	4.90%	5.77%

(注)

1. 単体自己資本比率 =  $\frac{\text{単体自己資本の額(基本的項目+補完的項目-控除項目)}}{\text{信用リスクアセット+オペレーショナルリスク}}$

2. 単体におけるTier1比率 = 基本的項目の額 ÷ 単体自己資本比率の分母の額

## 自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

項 目	平成20年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	35,654	1,426
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	35,654	1,426
(i) ソブリン向け	6	0
(ii) 金融機関向け	2,477	99
(iii) 法人等向け	9,985	399
(iv) 中小企業・個人向け	7,911	316
(v) 抵当権付住宅ローン	1,739	69
(vi) 不動産取得等事業向け	2,326	93
(vii) 三月以上延滞等	1,021	40
(viii) その他	10,185	407
②証券化エクスポージャー	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク	3,058	122
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	38,713	1,548

(注) 1. 所要自己資本の額 = リスクアセット × 4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額です。

3. 「ソブリン」とは、中央政府、中央銀行、地方公共団体、我が国の政府関係機構、土地開発公社、外国の中央政府以外の公共部門(当該国内においてソブリン扱いになっているもの)、国際復興開発銀行、国際金融公社、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州復興開発銀行、米州開発銀行、欧州投資銀行、欧州投資基金、北欧投資銀行、カリブ開発銀行、イスラム開発銀行、欧州評議会開発銀行協議会、国際決済銀行、国際通貨基金、欧州中央銀行、欧州共同体、信用保証協会及び漁業信用基金協会のことです。

4. 「延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヶ月以上延滞しているエクスポージャーのことです。

5. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を使用しています。

《オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算出方法》

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

6. 総所要自己資本比率 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

## 金利リスクに関する事項

運用勘定		調達勘定	
区 分	金利リスク量	区 分	金利リスク量
	平成20年9月期		平成20年9月期
貸 出 金	930	定期性預金	634
有価証券等	340	要求払預金	459
預 け 金	56	そ の 他	-
そ の 他	-	調達勘定合計	1,094
運用勘定合計	1,326		

(単位：百万円)

銀行勘定の金利リスク	232
------------	-----

(注) 1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫では、金利ショックを200BPV(市場金利が上下に2%変動した時に受ける金利リスク量)として銀行勘定の金利リスクを算出しております。

2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等の額の50%相当額を0~5年の期間に均等に振り分けて(平均2.5年)リスク量を算定しています。

3. 銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定します。

銀行勘定の金利リスク(232百万円) = 運用勘定の金利リスク量(1,326百万円) - 調達勘定の金利リスク量(1,094百万円)